

第24回 衛生工学シンポジウムプログラム

平成28年11月15日(火)

北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟

参加費：1000円(含CD-R要旨集)

9:00~10:30：北大衛生環境工学スタッフによる各自の研究紹介 (2階 レクチャーホール)

(司会：北大 船水尚行)

昨年度は中堅スタッフによる研究紹介を行いました。本年度はシニアスタッフによる研究紹介を行います。

水質変換工学研究室	(岡部 聡)	「水環境とバイオテクノロジー」
サニテーション工学研究室	(船水尚行)	「サニテーション価値連鎖の研究」
水環境保全工学研究室	(高橋正宏)	「カリウムのマテリアルフロー」
環境システム工学研究室	(長野克則)	「再生可能エネルギー熱としての 地中熱利用に関するR&D最前線」
大気環境保全工学研究室	(松井利仁)	「内耳前庭器官による低周波音の知覚とその健康影響」
大気環境保全工学研究室	(村尾直人)	「原子力発電所事故に対する計画的な 意思決定ツールの必要性」
環境リスク工学研究室	(松井佳彦)	「水処理と水質基準」

10:40~12:15：一般研究発表・パネル展示

3分間の口頭発表の後、ポスター発表(1階エントランスホール、2階ホワイエ)を行います。

衛生工学・環境工学関連自治体・企業の活動を紹介するパネル展示(2階ホワイエ)も実施します。

10:40~

一般研究発表

会場1(2階 レクチャーホール)

(司会：北大 佐藤昌宏)

- 1-1. 霞ヶ浦底質における地点・深度別の菌叢比較
○對馬育夫(国立研究開発法人土木研究所)
- 1-2. 最先端の研修・研究機能を有する環境配慮型施設計画
○岩村卓嗣(大成建設(株)設計本部)

- 1-3. 地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築
○上出光志（北海道立総合研究機構），山越幸康，保科秀夫，藤沢拓巳，高橋徹哉，
垣原康之，安久津久，小野理，月舘司，北口敏弘，○赤澤敏之
- 1-4. 超音波処理法による生体組織の表面改質と感染症対策
○赤澤敏之（北海道立総合研究機構），村田 勝，南田康人，Arafat Kabir，
Mamata Shakya（北海道医療大学），片山昌彦（株レドックステクノロジー）
- 1-5. 竪型火格子式ストーカ炉の連続運転性能
○石部 健輔，榎本 貴史，山本 翔悟，伊藤 浩二郎（株プランテック設計部）
- 1-6. 一般廃棄物処理施設の水銀挙動調査（乾式反応集じん装置による水銀除去）
○大山 曜，三宅伴憲，山田裕史，榎本貴史（株プランテック設計部）
- 1-7. 排出ガス不正事案を受けたディーゼル乗用車等の検査方法見直しについて
○倉谷英和（北海道大学公共政策大学院），連名者調整中（国土交通省自動車局環境政策課）
- 1-8. 持続性殺菌剤「earthplus™」による院内感染リスク軽減
○桜田 司（株信州セラミックス取締役会長）
- 1-9. ショットクリーニングによるごみ発電ボイラダスト除去
○北野和敏（岩手沿岸南部広域環境組合），○阿部夏季，泉屋 亨，川田一輝，戸高光正
（新日鉄住金エンジニアリング(株)）
- 1-10. 廃石膏ボードから再生した石膏粉を利活用するための社会実装について
○野口真一，西川美穂（（一社）泥土リサイクル協会）
- 1-11. 八重瀬町地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業の取り組み
○鈴木英之，根岸 均，川嶋崇之（株建設技術研究所）
- 1-12. クローズド最終処分場における浸出水処理施設の事例紹介
○佐々木智彦，小鳥居晴樹，能勢忠典（クボタ環境サービス(株)）
- 1-13. ごみ処理広域化についての技術的検討事項と課題・考察
○松本良二，坂本嵩延（八千代エンジニアリング(株)総合事業本部 環境施設部）
- 1-14. 短時間かつ低コストで測定できる水質汚濁レベル測定システムの開発
鈴木裕子（メタロジェニクス(株)），○林 秀洋，北條 渉（セルスペクト(株)），
佐藤 久（北海道大学）
- 1-15. 災害廃棄物における手選別の効率化の検討
○古田秀雄，五十嵐知宏，種浦圭輔（株建設技術研究所），山田正人，落合 知（（国研）国
立環境研究所）
- 1-16. 札幌市における微小粒子状物質のPMF解析
○吉田 勤，猪股省三，山口弘行，木田 潔（札幌市衛生研究所）
- 1-17. 加熱化学処理による除染廃棄物等焼却残渣からの放射性セシウム除去
○藤原 大，倉持秀敏（国立環境研究所，横浜国立大学），小倉正裕，竹田尚弘（株神鋼環境ソリ
ューション），大迫政浩（国立環境研究所）

会場2（1階 セミナー室）

（司会：北大 北島正章）

- 2-1. 持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想の策定・見直しについて
○倉谷英和（北海道大学公共政策大学院），連名者調整中（環境省廃棄物・リサイクル対策部
浄化槽推進室）
- 2-2. 電気化学的手法を用いた殺菌技術の開発
○矢嶋健人（北海道大学地球環境科学研究院），Guizani Mokhtar（キングサード大学），
上面雅義（日立化成株），船水尚行（北海道大学工学研究院，北海道大学国際連携教育局），
川口俊一（北海道大学地球環境科学研究院，北海道大学国際連携教育局）
- 2-3. 伏流水に適用された直接ろ過＋紫外線照射処理の運転結果
○佐藤良太，森藤昭博，藤本瑞生（株神鋼環境ソリューション水環境事業部上下水技術部），
石丸 豊（株神鋼環境ソリューション水環境事業部）
- 2-4. 一槽型アナモックス MBR の窒素除去性能と細菌叢解析
○金田一智規，倉塚 恒，尾崎則篤，大橋晶良（広島大学），栗田貴宣（名古屋大学）
- 2-5. 嫌気性膜分離（AnMBR）を用いた余剰汚泥の消化に関する研究
○羽深 昭，山村 寛（中央大学理工学部），佐藤 久（北海道大学工学研究院），
渡辺義公（中央大学研究開発機構）
- 2-6. 石炭系及びビヤン殻系活性炭の再生後の処理性及び運転性の確認
○竹内祐衣，園山 徹，片石謹也（株東京設計事務所），北野守康，石田直洋，
佐藤貴文，岩波亜紀子（東京都水道局）
- 2-7. 微細珪砂を用いた凝集＋砂ろ過法におけるパドル攪拌洗浄の検討
○笠原伸介（大阪工業大学），永井将貴（大阪工業大学大学院），石川宗孝（大阪工業大学）
- 2-8. PTFE 製中空糸膜を用いた浸漬型 MBR の省エネルギー化
○三好太郎，グエン タン フォン，円谷輝美（前澤工業株），田中 育，森田 徹
（住友電気工業株），糸川浩紀，橋本敏一（日本下水道事業団）
- 2-9. 放電型光触媒による脱臭・除菌
○志村尚彦（株東芝）
- 2-10. 顕微鏡電気泳動法を応用した凝集剤注入制御システム
○有村良一，毛受 卓，黒川 太，横山 雄（株東芝）
- 2-11. STR を指標とした浄水場運転管理方法の検討
○奈須リサ，北村彰浩，雨宮潤治，小野泰宏，村上清人（水道機工株）
- 2-12. 石油随伴水処理と地域産業の創出
○小島啓輔，田崎雅晴（清水建設株），岡村和夫（清水建設株），現（株）トッププランニング
JAPAN），芹澤貞美，Mark SUEYOSHI（清水建設株），Rashid S. Al-MAAMARI（ス
ルタンカブース大学）
- 2-13. 湖沼系原水に対する膜ろ過の前処理としての上向流活性炭処理の効果
○根本雄一（前澤工業株）

2-14. Membrane Technology of Asahi Kasei Microza™ and Application of PVDF
Membrane for Water Treatment

○D. Okamura, Y. Gojo, T. Tsukahara, T. Ogawa, and T. Namima (旭化成株)

2-15. 水道施設における更新設計・計画の検討事例

○清田政幸 (株日水コン大阪支所), 木村 龍, 原 栄一 (株日水コン北海道支所)

2-16. メソ粒子に着目した凝集-膜ろ過に最適な凝集剤の選定

○山村 寛, 丁 青 (中央大学理工学部), 渡辺 義公 (中央大学研究開発機構)

2-17. 浸漬型中空糸膜モジュールを用いた地下水・浄水膜ろ過システム

○小寺博也, 江田庸宏, 澤田繁樹, 中原禎仁(株ウェルシイ)

2-18. 浸漬型膜分離活性汚泥法において平膜の受動的振動がファウリング制御に与える影響

○長岡 裕 (東京都市大学)

11:30~12:15

一般研究発表ポスター発表 (1階エントランスホール、2階ホワイエ)

自治体・企業パネル展示 (2階 ホワイエ)

P-1. 企業の環境への取り組み

○小笠原 剛 (株N J S管理本部人事部), 和知英治 (株N J S札幌事務所)

P-2. 紫外線吸光度自動測定器の浄水処理への適用

○成瀬拓朗, 藤田賢一, 島崎 洋 (札幌市水道局給水部水質管理センター),
清水心太 (札幌市水道局給水部白川浄水場)

P-3. コンサルタントによる上下水道環境改善 ～開発途上国援助の事例～

○谷江めい (TEC インターナショナル), 片石謹也 (株東京設計事務所)

P-4. タクマのちから ～環境とエネルギー～

○柴田 清 (株タクマエンジニアリング統轄本部技術センター装置技術部)

P-5. 地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築 ～自治体の有機系廃棄物に関する取組～

○阿賀裕英, 小野 理, 福田陽一郎 (北海道立総合研究機構環境科学研究センター),
石井一英, 藤山淳史 (北大工学部)

P-6. ポアフロンをを用いた含油排水処理の取り組みについて

○池田啓一, 森田 徹, 三木博子, 松本 岳 (住友電気工業株水処理事業開発部)

P-7. 鹿島の環境技術

○井谷隆志 (鹿島建設株北海道支店土木部)

P-8. フェロニッケルスラグを用いたキャピラリーバリア ～最終処分場の閉鎖を産業副産物で～

○坂本 篤 (日本国土開発株)

P-9. 下水道老朽管の管内TVカメラ調査の結果について

○高野昭弘, 齊藤幸寛 (江別市水道部下水道施設課維持管理係)

- P-10. 復建調査設計㈱の環境への取組
○井上陽仁 (復建調査設計㈱環境部)
- P-11. 株式会社ドーコン 建コンって聞いたことある？
○手塚宇宙 (㈱ドーコン都市・地域事業本部都市環境部) , 中川直樹, 宮下彩乃
(㈱ドーコン都市・地域事業本部総務部)
- P-12. 大成建設の環境への取組み
○牧野秀和 (大成建設㈱札幌支店)
- P-13. 地熱等の再生可能エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに関する調査
○濱島義人, 大泉勝裕 (北海道開発局開発監理部開発連携推進課)
- P-14. 大林組の廃棄物最終処分場技術への取組み
○小竹茂夫 (㈱大林組エンジニアリング本部環境技術第一部)
- P-15. 岩田地崎建設㈱の環境へのとりくみ
○伊藤俊裕, 三好 修, 上村英史, 太田雅彦 (岩田地崎建設㈱)
- P-16. ㈱明電舎の事業紹介
○吉本みどり (㈱明電舎水・環境システム事業部戦略企画部システム開発課)
- P-17. 災害廃棄物処理対策への取組み
○眞鍋和俊 (応用地質㈱地球環境事業部)
- P-18. 応用生態工学研究の取組み
○沖津二郎 (応用地質㈱地球環境事業部)
- P-19. 西部スラッジセンター1、2系焼却炉の改築更新について
○大堀武蔵, 夏堀幸司 (札幌市下水道河川局総務部下水道計画課)
- P-20. 汚泥焼却排水による活性汚泥の硝化阻害とシアン馴致に関する調査
○小野香保里, 藤本崇史 (札幌市下水道河川局下水道施設部)
- P-21. 五洋建設の環境技術
○鶴飼亮行 (五洋建設㈱)
- P-22. 都市ごみ焼却施設における熱回収技術
○大石若菜, 片山 武 (日立造船㈱環境設計部)
- P-23. 川崎重工業 プラント・環境事業の取組み
○山田健太 (川崎重工業㈱プラント・環境カンパニー環境プラント総括部環境プラント部プロジェクト一課)
- P-24. 北海道における水素社会の実現に向けて
○井戸井 毅 (北海道環境生活部環境局低炭素社会推進室)
- P-25. ストーカ式焼却炉 (堅型火格子式) による廃棄物の焼却処理
○片山靖之 (㈱プランテック北海道営業所)
- P-26. バイオミクリーの概念を活用したエコスクールの紹介
○若山尚之 (千葉工業大学)
- P-27. 流動床式ガス化溶融施設の実績
○品川祐司 (㈱神鋼環境ソリューション)

- P-28. 地熱トルネード工法
○永坂茂之, 田村 稔, 木村 崇, 佐藤秀幸 (新日本空調株), 菅 一雅, 小松吾郎,
今 広人 (ジャパンパイル株), 小野雅敏, 進 一寛 (株イノアック住環境)
- P-29. 最新の海域環境調査・予測技術の紹介
○島田克也, 永尾健太郎, 峯岸宣遠 (いであ株国土環境研究所), 中村匡俊 (いであ株環境創造研究所)
- P-30. 東洋設計の再生可能エネルギーと環境への取り組み
○西嶋真幸 (株東洋設計技術本部企画室)
- P-31. 水コンサルタントの仕事紹介
○清田政幸 (株日水コン水道事業部大阪水道部技術第一課)
- P-32. 清水建設技術研究所本館の位置情報を活用した省エネ・快適運用の取り組み
○中村卓司 (清水建設株)
- P-33. 環境ビジネスへの取組
○古橋規尊 (富士通エフ・アイ・ピー株)
- P-34. 月島機械株式会社
○荒井 健 (月島機械株事業統括部事業管理グループ)
- P-35. 災害廃棄物処理について
○山口侑也 (パシフィックコンサルタンツ株 環境創造事業本部 資源循環マネジメント部)
- P-36. 循環型社会のデザイナーを目指す ～建設技術研究所のコンサルティング～
○林 正樹 (株建設技術研究所大阪本社資源循環室), 古田秀雄 (株建設技術研究所
東京本社地球環境センター), 仮谷伏竜 (株建設技術研究所北海道支社環境室)
- P-37. 札幌市内で発生したPM2.5の高濃度現象について
○鐵川史人, 藤田 将, 金盛竜朗 (札幌市環境局環境都市推進部環境対策課)
- P-38. 石狩市美登位地区を拠点とした環境教育プログラムの取り組み
○崎川哲一, 草野竹史, 小林卓也 (石狩市環境教育推進協議会)
- P-39. 高性能小規模集合住宅への3電池導入とシステム共有化の事例紹介
○武田清賢 (北海道ガス株), 村本嘉幸 (株土屋ホーム)
- P-40. 水ing 事業紹介
○須田康司 (水ing株上水技術部), 林 義崇 (水ing株人事部)
- P-41. 前澤工業の環境への取り組みについて
○石川 進 (前澤工業株)
- P-42. Waste to Energy の新たなフィールドへ
○藤原 孝, 安倍真也, 三好敬久 (荏原環境プラント株)

13:00～14:20 : 企画セッション1

企画セッション1-1 「副産物の循環利用の現状と課題-地盤工学的利用と環境安全性-」

(1階セミナー室)

(司会：北大 石井一英)

産業活動を行う上で、副産物の発生は避けることができません。こうした副産物の循環利用が強く求められる中、現在、大量かつ安価な利用先として、地盤工学的な分野での利用が注目されています。

本セッションでは、鉄鋼製造の過程で副生する鉄鋼スラグや、石炭火力発電所から発生する石炭灰の他、建設工事で遭遇する可能性のある自然由来重金属類を含む建設発生土を例に、それぞれの利用状況を紹介いただくとともに、副産物の地盤工学的利用でしばしば問題となる「循環安全性」をキーワードに、今後取り組むべき研究の方向性を議論していきたいと思えます。

講演者

- 肴倉 宏史 (国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
高橋 克則 (JFE スチール株式会社 スチール研究所)
田本 修一 (国立研究開発法人 土木研究所 寒冷地土木研究所)
井野場 誠治 (一般財団法人 電力中央研究所 循環科学研究所)

企画セッション1-2 「SDGs にむけた水分野からの貢献」

(2階レクチャーホール)

(司会：北大 伊藤竜生)

国連ミレニアム目標へのキャンペーンが昨年終了しましたが、水分野においては飲料水については達成、衛生設備については未達成という結果になりました。そして、まだ安全な飲料水や衛生設備を持っていない人々が多くいます。このような人々に飲料水や衛生設備を持ってもらうためにはまだまだ多くの研究が必要であり、日本の研究者が貢献する余地が大いにあります。

本セッションでは、国際協力に携わっている若手研究者やファシリテーターをパネリストとして、そのご経験をご紹介いただき、今後の研究協力のあり方について討論します。

講演者

- 中村 高志 (山梨大学・国際流域環境研究センター)
亀井 樹 (山梨大学・国際流域環境研究センター)
飛野 智宏 (東京大学)
山本 尚毅 (Deposit Toilet Project)

14:20～14:55

北大衛生環境工学コースの最新研究成果（ポスター発表、2階ホワイエ）

1. ロタウイルスの塩素消毒耐性獲得メカニズムに関する研究
○門屋俊祐, 北島正章, 岡部 聡, 佐野大輔 (水質変換工学研究室)
2. HBGA 陽性細菌がロタウイルスの感染能力に与える影響
○河合大樹, 北島正章, 岡部 聡, 佐野大輔 (水質変換工学研究室)
3. 細胞応答を活用した感染性エンテロウイルスの迅速検出手法の開発
○渡邊亮介, 稲葉愛美, 北島正章, 岡部 聡, 佐野大輔 (水質変換工学研究室)
4. 病原性レジオネラの制御に有効なバクテリオファージの探索
○高木達馬, 佐野大輔, 岡部 聡, 北島正章 (水質変換工学研究室)
5. ノロウイルスの迅速・高感度検出のための電気化学アプタセンサー開発
○平野誠也 (水質変換工学研究室), Nan Wang, Jianmin Miao (南洋理工大学),
佐野大輔, 岡部 聡, 北島正章 (水質変換工学研究室)
6. 高強度膜洗浄が可能にする下水中有機物の膜を用いた濃縮
○佐藤 拓, 木村克輝 (サニテーション工学研究室)
7. スポンジ担体を投入した仕切板挿入型 MBR による高効率下水処理
○飯田稔彦, 山本昌平, 木村克輝 (サニテーション工学研究室)
8. インドネシア都市スラムにおける価値連鎖サニテーションシステムに関する研究
○小林寛季, 牛島 健, 伊藤竜生, 船水尚行 (サニテーション工学研究室)
9. DNA アプタマーを用いた簡易ヒ素分析手法の開発
○奥山 優, 佐藤 久 (水環境保全工学研究室)
10. 新規特定酵素蛍光基質を用いた簡易大腸菌分析手法の開発
○菊地 凱, 佐藤 久 (水環境保全工学研究室)
11. 水銀イオンと DNA チミン塩基の塩基対形成能を利用した簡易水銀分析手法の開発
○吉原 光, 佐藤 久 (水環境保全工学研究室)
12. DNA アプタマーを用いた簡易カドミウム分析手法の開発
○山口拓郎, 佐藤 久 (水環境保全工学研究室)
13. 福島第一原発事故直後の河川水中放射性ヨウ素濃度の推定
○滝野沢佑輔, 深澤達矢 (水環境保全工学研究室)
15. 摩周湖における懸濁態粒子の組成分析と透明度への影響
○高橋優貴, 深澤達矢 (水環境保全工学研究室)
16. 着衣の濡れを考慮した暑熱下の生理量 (ストレイン) の予測とそれに基づく環境安全評価への研究
—高湿度域における生理量の定常値予測および過渡的評価—
○大前裕紀, 斉藤大治, 濱田靖弘, 窪田英樹 (環境人間工学研究室), 栗原浩平 (釧路工業高等
専門学校)

17. 次世代中央式給湯システムデザインのための動的負荷の研究—研究の背景・目的と宿泊施設の給湯負荷—
○小原雄輝, 濱田靖弘 (環境人間工学研究室), 赤井仁志 (福島大学/北海道大学)
18. 集合住宅におけるエネルギー使用実態と分散型電源の導入効果に関する研究—実世帯におけるエネルギー使用実態と居住環境の実測経過—
○菅原裕貴, 濱田靖弘, 山田拓郎 (環境人間工学研究室), 横川 誠, 武田清賢 (北海道ガス株), 水馬義輝, 佐々木直之 (広島ガス株)
19. 燃料電池・太陽電池・バッファデバイスを導入した家庭用エネルギーシステムに関する研究—フィールド実測結果と評価—
○柳町美希, 花野翔眞, 濱田靖弘 (環境人間工学研究室), 武田清賢, 板野愉朋 (北海道ガス株), 佐藤英男, 水馬義輝 (広島ガス株), 佐伯英樹, 相馬英明 (田淵電機株), 本間富士夫 (日本ケミコン株)
20. デシカント換気装置と地中熱源暖房・給湯ヒートポンプを導入した寒冷地住宅の夏期性能評価
○佐藤怜央, 長野克則, 中村真人 (環境システム工学研究室), 鍋島佑基 (豊橋技術科学大学), 青木智恵美 (㈱テクノフロンティア), 仁木康介, 古川 修 (サンポット株)
21. 既存建築の高断熱化に寄与する光透過型真空断熱材・薄型真空断熱材の検討
○村上友章 (北海道大学), 葛 隆生 (北海道大学), 楊 樟 (北海道大学), 中村真人 (北海道大学), 長野克則 (北海道大学)
22. 寒冷地におけるネット・ゼロ・エネルギービルの構築に関する検討 (第2報) 積雪寒冷地に建設された地中熱ヒートポンプ暖房システムを採用したローエネルギー子どもセンターの建物概要と夏期・冬期の実測評価
○廣内 優, 井島拓也, 姜 允敬, 中村真人, 長野克則 (環境システム工学研究室), 堀井淳史 (㈱高木設計), 松下靖彦, 佐藤全弘 (留寿都村)
23. 地中熱熱回収ヒートポンプシステムの導入効果の定量化に関する検討
○宮下佳樹, 葛 隆生, NGUYEN HAI DANG, 長野克則 (環境システム工学研究室), 中村 靖 (新日鉄住金エンジニアリング株)
24. 北海道における三次元地盤・地下水データベースを用いた地中熱交換器の必要規模の評価とマッピング
○橋本隼樹, 阪田義隆, 葛 隆生, 長野克則 (環境システム工学研究室)
25. 乾燥地域を対象とした埋立地中廃棄物の乾燥化シミュレーション
○岡本侃大, 東條安匡, 松藤敏彦, 松尾孝之 (廃棄物処分工学研究室)
26. 海面処分場内水ポンド中 Mn 濃度低減を目的とした焼却灰層への浸出水循環効果
○阿部知恵子, 東條安匡, 松藤敏彦, 松尾孝之 (廃棄物処分工学研究室)
27. 乾燥地域の蒸発依存型浸出水処理における悪臭改善に関する研究
○糸賀悠里香, 東條安匡, 松藤敏彦, 松尾孝之 (廃棄物処分工学研究室)

28. リン酸噴霧による焼却施設バグフィルター差圧変化に及ぼす布付着灰特性変化に関する研究
○細川拓也, 黄 仁姫, 松藤敏彦, 松尾孝之 (廃棄物処分工学研究室) 倉田昌明, 前田典生 (株タクマ)
29. リン酸化合物添加によるバグフィルター差圧低減効果に関する研究
○高橋滋敏, 黄 仁姫, 松尾孝之, 松藤敏彦(廃棄物処分工学研究室), 倉田昌明, 前田典生 (株タクマ)
30. バイオマスガストープの数値シミュレーション
○山形治輝, 山形 定 (大気環境保全工学研究室), 酒井恭輔 (北海道大学電子科学研究所光システム物理研究分野)
31. 1,4-ジオキサン地下水汚染予測の精度改善のためのパラメータ決定法に関する研究
○今池祥平, 石井一英 (循環計画システム研究室), 藤山淳史 (循環・エネルギー技術システム分野), 佐藤昌宏 (循環計画システム研究室)
32. エネルギー回収に着目した汚泥再生処理センターでの有機系廃棄物集約処理システムに関する検討
○勝見 慧 (循環計画システム研究室), 藤山淳史 (北海道大学), 石井一英, 佐藤昌宏 (循環計画システム研究室)
33. FIT に頼らない牛ふん尿バイオガスプラントの運営に関する研究 —バイオガスプラントの導入効果を踏まえて—
○三宅 琢, 石井一英 (循環計画システム研究室), 藤山淳史 (循環・エネルギー技術システム分野), 佐藤昌宏 (循環計画システム研究室)

14:55~16:40 : 企画セッション2 「各界を牽引する衛生工学卒業生」

(2階レクチャーホール)

(司会 : 阿部公一 株式会社ドーコン 執行役員 都市・地域事業本部 副本部長)

ご存じの通り、北大衛生工学・環境工学卒業生は非常に幅広い分野で活躍しています。今回のシンポジウムでは、現在の関連分野において先導的立場を担う年代である衛生工学24期生(1984年3月卒)が多数お集まりになります。この機会に、24期生の方々に業界の課題や展望、現在の大学や学生に期待することなどをお話しいただき、広く意見交換を行います。

パネリスト

氏家 寿之	日本工営株式会社
佐々木 真一	札幌市水道局給水部計画課長
築地原 康志	北海道環境生活部次長
土手 裕	宮崎大学工学部社会環境システム工学科教授
中津川 誠	室蘭工業大学大学院工学研究科 暮らし環境系領域教授
春 公一郎	株式会社日水コン 取締役常務執行役員 事業統括本部長

16:50～17:40 : 特別講演

(2階レクチャーホール)

(司会 : 北大 松井佳彦)

「衛生工学が果たすべき役割について」 **吉岡 亨 (札幌市副市長)**

平成 27 年、本学衛生工学 OB である吉岡氏が札幌市副市長に就任されました。下水道の仕事を中心にされてきた吉岡氏ならではの広い視野に立った活躍ぶりに大きな注目が集まっています。

今回の特別講演では、札幌市と北海道の今後、大学と行政との連携、学生への期待などを含め、衛生工学に携わる我々が今後必要となる取り組みについて存分にお話しいただきます。

18:00～20 : 00 : 懇親会

工学部食堂

会費 : 3,000 円 (予定)